

高年妊婦に特化した緊急帝王切開予測モデルの構築に関する研究

このたび当院では、入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を『4. お問い合わせ先』に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 研究の対象

2015年4月1日～2022年10月31日の間に山梨県立中央病院産科にて分娩された患者

2. 研究目的・方法

社会環境の変化および補助生殖医療の発達に伴い高年妊婦は増加しています。妊婦の高年化に伴い妊産婦死亡率、周産期死亡率は増加することから、その周産期管理、特に分娩管理には特別な配慮が必要です。そこで40歳以上の妊婦において分娩転帰に影響を及ぼす因子を抽出し緊急帝王切開の予測モデルの構築を行い、分娩管理の一助としたいと考えています。本研究は研究対象者の過去のカルテ情報を用いて緊急帝王切開のリスク因子について多変量解析を行い、その結果に基づき予測モデル式を構築することです。研究実施期間：研究機関の長の許可日～2023年12月31日

3. 研究に用いる情報の種類

研究に用いる情報：妊娠中の採血・超音波データ、分娩結果 等

4. お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

また、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 研究責任者：産科 篠原諭史

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）